

「GIGA スクール特別講座～GIGA は国境を越える！～」を令和5年4月24日（月）に開催することになりましたので、趣旨、実施内容等についてお知らせします。

事 務 連 絡
令和5年3月31日

各都道府県・指定都市教育委員会情報教育担当課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課 御中
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局 GIGA StuDX 推進チーム
文部科学省総合教育政策局国際教育課

「GIGA スクール特別講座～GIGA は国境を越える！～」の開催について（依頼）

この度、文部科学省ではG7サミット参加国（仏、米、英、独、伊、加）の駐日各国大使館の協力のもと、「GIGA スクール特別講座～GIGA は国境を越える！～」を下記のとおり実施します。ついては、各都道府県教育委員会 GIGA スクール構想担当課にあつては、所管の学校及び域内の市（指定都市を除く。以下同じ。）区町村教育委員会に対し周知すると共に、特に市区町村教育委員会へは所管の学校に対しても周知するよう、御伝達をお願いします。また、各指定都市教育委員会 GIGA スクール構想担当課にあつては、所管の学校に対し、各都道府県私立学校事務主管部課及び構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の株式会社立学校事務主管課にあつては、所轄の学校に対し、附属学校を置く国公立大学法人にあつては、所管の附属学校に対し、周知願います。

記

1 趣旨

G7サミット及び関係閣僚会議等の開催を契機として、関係国との友好を一層深め、国際理解教育を推進するため、仏、米、英、独、伊、加の各国大使館の協力のもと、「GIGA スクール特別講座～GIGA は国境を越える！～」を6回に分けて実施します。全国どこからでも参加が可能であり、関係国との友好を一層深め、国際理解教育を推進するための貴重な機会となります。

2 日時

令和5年4月24日（月）14:00～14:45（45分間） 第1回 カナダ大使館

※仏、米、英、独、伊については、令和5年5月以降に順次実施予定

3 テーマ

GIGAは国境を越える！～カナダ大使館とつながりたい！～

4 対象学校

小学校（高学年）

※小学校（低学年・中学年）、中学校、高等学校等、どなたでも視聴可能です。

※大学生、大学院生や学校関係者以外の一般の方の視聴も歓迎します。

※参加を希望する方は、「6 参加方法」を御覧ください。

5 内容

カナダ大使館外交官等と中継で繋ぎながら、次の内容を実施します。

[概要]

カナダ大使館外交官からカナダの魅力や歴史などの紹介や、カナダに関するクイズを出題いただく予定です。

外交官からのお話や、クイズの解答を考えることを通じて、カナダの生活や文化への理解を深めます。

6 参加方法

・ 文部科学省からライブ配信する内容をYouTubeで視聴します。

・ 事前申し込みは不要です。

・ 大使館外交官等から出題されるクイズへの解答や質問、感想、メッセージ等をフォーム（Microsoft Forms）に1人1台端末で入力して参加します。

・ 当日の配信内容は終了後にアーカイブ配信しますので、後日、授業等で活用いただくことも可能です。

※ 特別講座への参加にあたっては「8. 参考（G7サミットとは）」や添付資料を事前指導等で御活用ください。

7 その他

接続方法等については、追って連絡します。

8 参考 (G7サミットとは ※G7広島サミット公式HPより)

[G7サミットとは]

G7サミット (主要国首脳会議)とは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ (議長国順)の7国及び欧州連合(EU)の首脳が参加して毎年開催される国際会議です。

[G7サミットの特徴]

G7サミットでは、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題を始めとするその時々の国際社会における重要な課題について、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7各国の首脳が自由闊達な意見交換を行い、その成果を文書にまとめ公表します。基本的価値を共有するG7首脳のリーダーシップにより、G7は国際社会の重要な課題に効果的に対応してきています。

[関連動画]

Our Life、 Our Hiroshima (G7 Hiroshima Summit 2023) :

<https://www.g7hiroshima.go.jp/visualmedia/> (提供：外務省)

G7広島サミットPR動画 :

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-summit/video.html>

(提供：広島サミット県民会議)



Our Life、 Our Hiroshima

(G7 Hiroshima Summit 2023)



G7広島サミットPR動画

[公式HP]

G7広島サミット : <https://www.g7hiroshima.go.jp/>

G7広島サミット県民会議 :

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-summit/>



G7広島サミット



G7広島サミット県民会議

9 参考（学習指導要領〔抜粋〕）

[小学校学習指導要領]

社会 第6学年

(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国と経済や文化などの面につながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。

(イ) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

[中学校学習指導要領]

社会 (公民的分野)

D 私たちと国際社会の諸課題

(1) 世界平和と人類の福祉の増大 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解すること。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解すること。

(イ) 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

[高等学校学習指導要領]

(公民)

第1 公共

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解すること。

第3 政治・経済

B グローバル化する国際社会の諸課題

(1) 現代の国際政治・経済

国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深めることに向けて、個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。

(ウ) 現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割に多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。



小学校学習指導要領



中学校学習指導要領



高等学校学習指導要領

<添付資料>

別紙1 G7広島サミットに関する説明パネル(提供：広島サミット県民会議事務局)

別紙2 G7広島サミットに関する説明パネル利用にあたっての遵守事項

<本件担当>

○GIGA スクール構想に関すること

文部科学省初等中等教育局 GIGA StuDX 推進チーム

渡邊、鶴岡

TEL : 03-5253-4111 (内線 : 4039)

E-mail : gigastudx@mext.go.jp

○特別講座の内容に関すること

文部科学省総合教育政策局国際教育課

濱部

TEL : 03-5253-4111 (内線 : 2637)

E-mail : kouryu@mext.go.jp